

めざす子ども像

地域に対する誇りと、地域を大切にする心**を持ち、自ら考え主体的に行動する子ども**

取組目標

飛鳥の地域で生きる喜びを感じる子どもが育つこと。そのために、地域と学校がより密につながる場と機会をつくり、これまで以上に地域で子どもを育む環境を整えること。また、地域の土台となる家庭を支え、地域の中で教師が育ち、学校園と関わる地域人材が育つこと。

【今年度の取組紹介】

飛鳥小学校で開催される「飛鳥こどもミュージアム（作品展）」では、小中学生と地域の方々が協力して一つのアート作品「つながろう飛鳥」を作成しました。式典では地域の方も参加し、小中学校の全クラスをオンラインでつなぎ、飛鳥地域の強いあたたかいつながりをみんなで感じる素敵な時間となりました。



子どもたちが地域の大人のモデルから学ぶ機会が減る中、地域交流事業として、自然農法でお米を育てている校区の方との交流の場を持ちました。一粒のお米の力を知ると共に、地域で活動する大人の姿に触れ、地域での新しい発見や「生きること」について学ぶことができました。



今年度も、中学3年生の面接練習で、地域の方々に面接官として協力していただきました。地域の方に生徒の様子を知っていただくことで、子どもたちに付けたい力、今必要な力について丁寧にアドバイスをいただき、地域の大人に見守られ育てていただいていることを実感する機会をもつことができました。

【今年度のまとめ】

コロナ禍で地域の大人と子どもが共に活動する機会が減る中、8月に小中一貫研修にあわせて、小中学校の教員と地域の方々と熟議の場を持ち、現在の状況の中で、子どもたちの自主性や達成感を育むことの大切さを共有しました。子どもたちのためにできることを地域と学校が共に考え、改めて地域の宝である子どもたちにつけたい力、地域を知り、地域を愛し、地域に誇りを持って、健やかに子どもたちが育つような方策を考える時間を持てたことは、大変有意義でした。

【来年度に向けて】

地域の様々な立場の大人と関わり、コミュニケーションをとる機会が減っていますが、これからもコロナ禍でできることを考え、地域・学校・保護者が協働・連携して、「地域に誇りを持ち、地域を大切にする」子どもたちを育てていけること、子どもが自ら考え、自主的に行動できる活動をすることを大切にしていきたいです。いつもそばに地域の方がいる中で子どもたちがいきいきと活動し、地域の大人も子どももお互いが支え合い、大切に思いあえる関係づくりを大切にしていきたいです。

めざす子ども像

地域に対する誇りと、地域を大切にすることをもち、自ら考え主体的に行動する子ども

取組目標

自分を知り、自己の考えを育て、それを皆の前で表現し、
行動できる力を育てる

【今年度の取組紹介】

今年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響により、様々な学校行事や地域行事の中止や実施形態の変更で活動が制限されましたが、5年目を迎えた「あすかスタディ・サポート（放課後図書館学習）」での学習支援は、今年度も形態を工夫しながら継続し、子どもたちも積極的に活用することができました。地域の方々の学校施設利用の制限がありましたが、地域ボランティアの方々や、今年度からは大学生参画事業として奈良教育大学生も参加し、「あすかスタディ・サポート」や、図書室の環境整備に取り組み、地域と学校が協働した子どものための活動を推進することができました。



12月には、キャリア教育推進事業として、バドミントンのオリンピック選手である園田啓悟さんをスペシャリスト講演会の講師に迎え、「自らの可能性を信じ、諦めずに努力することの大切さ」を学びました。バドミントンの交流もしていただき、園田さん、全生徒、教員みんながあたたかい気持ちで体育館で一つになり、感動を共有する大変有意義な時間となりました。



【今年度のまとめ】

今年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響により、様々な学校行事や地域行事の中止や実施形態の変更で活動が制限され、子どもと地域の方々に関わる機会や子どもたちが地域の中で活躍する機会が減った一年でしたが、コロナ禍で「できない」だけではなく、コロナ禍の今「子どもたちにできること」、「子どもたちができること」を考えることの大切さを改めて感じ、地域・学校・保護者でその思いを共有することができました。また、子どもたちも制限のある活動の中で、一つ一つの取組に意欲的に取り組み、達成感や感動を味わうことができました。

【来年度に向けて】

地域の中での活動が減り、地域の大人と関わる機会が減る中でも、地域を知り、地域に誇りを持つこと、また、子どもが自分を知り、自分の考えを持ち、主体的に動けるようになることを大切にできるよう、コロナ禍の今、生徒たちの「学び力」を伸ばし、これからの社会を生きていく力を育てるためにも、今後も地域・保護者と協働・連携を図ってまいります。

めざす子ども像

地域に対する誇りと、地域を大切にすることを 持ち、自ら考え主体的に行動する子ども

取組目標

地域に根差した学習活動において、地域の方々が活躍できる出会いの場を計画し、児童が様々な地域の方々と出会うことで、地域のよさに気づき地域を大切にしようとする意識を育てる。

【今年度の取組紹介】

今年度も、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止をふまえた対応となりました。しかし、地域の方と常に考えていたのは、取組をゼロにするのではなく、今、できることを行っていこうというものでした。そのいくつかの取組を紹介します。

まず、新型コロナウイルスの感染状況をみながら、地域の方と共に、「まち探検」や「世界遺産学習」に行きました。本校区は、歩いてすぐの場所に多くの世界遺産があることから、地域の方と共に、充実した時間を過ごすことができました。

次に、オンラインを利用した「つながろう飛鳥」の取組を行いました。この取組は、本校の体育館で、小中だけでなく、園や高校の方の作品を展示したり、地域の方も招待したりして、メッセージを書いてもらうものです。その最終日には、地域の方もお招きして、小中全学級をオンラインで結んで式典を行いました。

最後に、今年も、本校児童が見守り運動をしていただいた地域の方に、鉢花を作成し、配りました。たくさんの方に喜んでいただきました。



【今年度のまとめ】

今年度もコロナ禍の中、様々な活動の制限もあり、例年通りとはいきませんでした。地域の方々や保護者ボランティアの方々に協力を得ながら、町探検などの地域学習や「つながろう飛鳥」などといった取組に対して、地域の方々の参加できる体制をできる限り整えました。このことにより、地域の方々の学校への関わりや思いが、子どもたちにも確実に伝わっており、いろいろな機会です学校や地域を良くしていこうという気持ちが子どもたちにも広がっています。

次年度も、地域と共にできることを取り組んでいきたいと思えます。

【来年度に向けて】

来年度も一層、小学校も中学校と同様に、地域の教育力を支え高める拠点として機能できるように連携の強化を更に図り、しっかりと見通しと計画をもって様々な事業を実施していきます。

また活動に対する評価をしっかりと行い、見直しや改善等が必要な場合は、話し合いを密接に行い、子どもたちと地域がしっかりと繋がることのできる充実した取組となるようにしていきたいです。ホームページによる発信も積極的に行っていきます。